

だいひょうあいさつ  
代表挨拶

さつぽろえんゆうじゅくだいひょう えんどう ち え こ  
札幌遠友塾 代表 遠藤 知恵子

みなさんこんにちは。今日は忙しい中お集まりいただき有り難うございます。

きょう ぜんどうこうりゅうかいなら さつぽろえんゆうじゅく ねん つど とお くしろ はこだて じしゅやかんちゅうがく  
今日の全道交流会並びに札幌遠友塾 25年の集いには、遠く釧路や函館の自主夜間中学で  
かつどう つづ がくしゅうしゃ かたがた か そつぎょうせい みな  
活動が続いている学習者やスタッフの方々が駆けつけてくださり、それに、卒業生の皆さん  
ひ わたしども かつどう しえん さんじょかいりん かた おおぜい かたがた さんか  
んや日ごろ私共の活動を支援してくださっている賛助会員の方など多勢の方々のご参加を  
いただいております。またお忙しい中駆けつけてくださいましたご来賓の方々にも心より  
かんしゃもう あ  
感謝申し上げます。

この札幌遠友塾は、スタートしてからすでに25年になります。

わたし などまだ関わって5年足らずですが、今日までの25年の道のりは山あり谷ありで、特に  
スタートから数年は大変な困難を伴うものだったと思います。そして、まさか25年も続く  
だろうとは思っても居なかったと聞いております。

た ちあげの時の合言葉は「学びたい人が生きることの証と喜びを見出せる場、仲間と  
もに楽しく学べる場を目指す」というものでした。「学びたい」という学習者の皆さんの熱  
い思いと、そして学んだことによる喜びが、活動の継続を支えてきたのだと思います。学び  
を支えるスタッフは、その学習している受講生の皆さんの熱い思いに励まされ、喜びを受  
け取っています。このような、受講生、スタッフのそれぞれの思いが、遠友塾が今日まで続  
いている原動力となっているのだらうと思います。

きょう ぜんはん ぜんほん さつぽろえんゆうじゅく あゆ さいしょ た あ かかわ  
今日のプログラムの前半では、この札幌遠友塾の25年の歩みを、最初の立ち上げから関  
り、現在「北海道に夜間中学をつくる会代表」をしている工藤慶一氏にふりかえってら  
います。25年の流れの中で立ち上げられてきたこの「北海道に夜間中学をつくる会」は、  
まな きかい え ひとびと ひろ まな きかい よ じょうけん まな  
学びの機会を得られなかった人々により広く学びの機会を、そしてより良い条件で学んで  
いただきたいと立ち上げられました。2008年、2009年には、旭川、釧路、函館にも夜間中学  
が立ち上げられ、このような交流会を毎年持つ事ができるまでに広がってまいりました。  
また、このところ夜間中学に関する国の動きも急展開を示しており、「多様な学習機会  
かくほうあん けんとう すず わたしたち ちゅうもく  
確保法案」の検討が進められており、私達も注目しているところです。ということで、つ  
くる会代表には、これまでの経過を話してもらおうことになっています。

後半では学習者、スタッフの方々の体験発表となっております。そこでは、「学び」を求めている人が、いかにして遠友塾の学びにたどり着いたのか、そしてその遠友塾の「学び」を通して得られた豊かな体験に基づいて受講生、スタッフの6人の方にお話しいただきます。時間的に制約のある中ではございますが、ご参集の皆様、ぜひ遠友塾の歴史をとともに振り返り、体験発表のお話に耳を傾けていただき、これからも、学びの場を得られないでいる人々の学習機会の充実に向け、これからの課題をとともに考えていただければと思います。

以上、簡単ではございますが、はじめのご挨拶とさせていただきます。

## 来賓挨拶

### 札幌市教育委員会 岡本 俊幸 様

皆様こんにちは。札幌市教育委員会生涯学習推進課で社会教育を担当している岡本と申します。よろしく願いいたします。平成2年にこちらの札幌遠友塾が開設されてから本日、第6回の北海道自主夜間中学交流会及び札幌遠友塾自主夜間中学の25年の集いということで、このように沢山の方がお集まりになり盛会に開催されることを心よりお祝い申し上げます。札幌遠友塾夜間中学でございますが、25年の間に370名あまりの方が卒業されたと伺っております。様々な境遇やご事情によりやむを得ず基本的な教育を受けられなかったにも関わらず、自ら強い意志で意欲を持って学習を続けられている塾生の皆様とか卒業生の皆様、そしてこのような方々に対して学びの場を提供してきました関係者の皆様に、本当に深く敬意を表したいと思っております。

また、北海道に夜間中学をつくる会の代表工藤様をはじめ関係者の皆様におかれましては、義務教育を受けられなかった方達に学ぶ権利を保障するという事を目指し、日々精力的に活動されておられます。札幌市としても生涯学習という視点で向陵中学校の使用について支援させていただいている所でもありますけれど、今後も引き続き、札幌遠友塾の皆様としっかり協議を進めて行きたいと考えております。

今日は沢山の方がいらっしゃっているのですけれど、25年の長い歴史の中を私がこれを

1日で理解することは難しいかとは思いますが、工藤代表の講演や皆様の生活体験発表など、しっかり聞いて今後の取り組みに活かしていきたいと思っております。最後になりますが、本日の交流会が皆様の今後の学習の糧となって、また、遠友塾の皆様の今後のご発展をご祈念いたしまして市からのご挨拶といたします。本日はまことにおめでとうございます。

## 2、向陵中学校 木村 嘉宏 様

皆様こんにちは。私は向陵中学校教頭の木村と申します。本日学校長は札幌市中学校体育連盟の会長としての業務がありまして、くれぐれも皆様によろしくお伝えくださいと申しついております。

さて、毎週水曜日になりますけれども遠友塾の活動で本校を学び舎にがんばっている皆様と共に在りたいと思ひまして、授業の間は学校に居て共に過ごさせていただいています。そして時々授業を拝見させていただいています。そんな中、7月に「こんばんは遠友塾です」という広報紙を向陵中学校の生徒、家庭の皆さん、地域の皆さんへと発行していただきました。(プリントを見せ)これなんですけどね。今年度の入学式や授業の様子。それから、つくる会の総会の件についての記事が書かれています。それでこれを生徒に配布する際に、私は職員に次のような話をしました。昨日実は遠友塾があつて授業の様子を見ました。そしたら教室ではご高齢ではあるんですけどね、ABCソングを一生懸命歌つて、目を輝かせて歌っている。そういう方々を見て、私も中学校の英語教師ですから教えていたときの生徒の姿とダブって非常に感動した、という話をしました。生徒にこの遠友塾広報紙を紹介する時に「向陵中学校でそういう頑張っている皆さんと同じ学び舎で歩いて居るといふことは是非誇りを持ってもらいたい」と話をしてもらいたいと朝の会で話をしました。そんな事で私も今年就任しまして半年経ちまして、いつも遠友塾さんの皆さんの活動を見ながら、応援したいなという気持ちでいます。

本日は25周年の集いを経て遠友塾さんが益々発展していただきまして、皆様がかつやく活躍されることを祈念いたしまして私の挨拶に代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。